

Camponotus fallax

(Nylander, 1856)

臆病で細身の樹木にすむアリで、驚くと動かなくなり、枯れ枝に巣を作って、コロニーは小さいままです。



写真：Philipp Hoenle (myrmecophil), CC0 1.0



ひと目でわかる情報



巣の温度

21-27 °C

巣の中



巣の湿度

40-50 %

巣の中



休眠

5-10 °C

11月 - 3月



結婚飛行

4月 - 6月

暑い日



働きアリ

4-8 mm

大型働きアリは最大9 mm



女王

8-11 mm

女王は1匹



コロニーの規模

働きアリ300匹規模

成長速度：普通



脱走リスク

中程度

アウトワールドに脱走防止の対策をしましょう



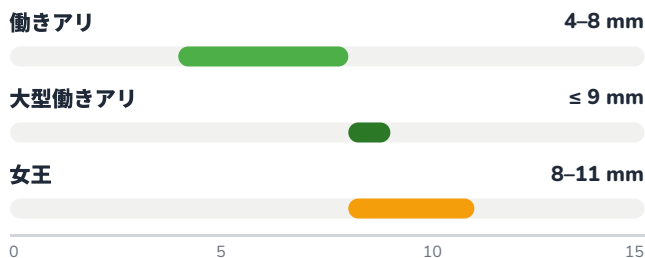
1年をひと目で



月は温帯ヨーロッパと地中海地域の目安です。正確な日は天気で決まるため、お住まいの地域では飛行が早まったり遅れたりすることがあります。



同じ縮尺での大きさ



飼育の早見表

食べ物

砂糖

昆虫

おすすめの巣

- 木製の巣
- Ytongの巣
- 自然再現型のセットアップ

この評価の理由

- 完全閉鎖型：最初の働きアリが現れるまで、女王に餌は不要です
- 好奇心が強い働きアリなので、アウトワールドに脱走防止の対策をしましょう
- 冷蔵庫などでの低温の休眠が必要です



飼育者からのメモ

ヒント

創設中の女王アリが選ぶ枯れ木を再現してあげましょう。試験管の中に厚紙か木のマットを入れるか、小さな木製の部屋を用意し、暗くて静かな環境にします。最初の数日は、はちみつを1滴与えます。お好みで小さくてやわらかい昆虫も添えてかまいませんが、女王アリははちみつのほうをはるかに熱心に口にします。そのあと1日たったらすべて取り除き、そっとしておいてください。この種の女王アリは神経質で、創設の立ち上がりが遅いからです。

注意

小さな働きアリはおぼれやすいので注意してください。イタリアのあるコロニーは、飼育者の留守中に働きアリが給水タンクの綿に潜り込んで死に絶えました。同じ飼育日誌のスレッドでは、別の飼育者が、救助用の小枝を入れておいてもオオアリの働きアリが砂糖液でおぼれ続けたと報告しています。はちみつは小さな滴で与え、給水タンクの綿栓は働きアリが届かない位置に置いてください。